

## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東  
 コード番号 3173 URL https://www.cominix.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経理部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,442	9.9	512	32.0	508	27.1	288	37.8
30年3月期第2四半期	11,320	14.5	388	135.5	400	175.2	209	276.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 218百万円 ( 5.1%) 30年3月期第2四半期 208百万円 ( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	42.04	-
30年3月期第2四半期	30.51	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,724	5,171	34.9
30年3月期	14,167	5,028	35.3

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,134百万円 30年3月期 4,995百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	9.00	-	11.00	20.00
31年3月期	-	11.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	8.1	1,050	24.8	1,040	24.3	557	20.3	81.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,868,840株	30年3月期	6,868,840株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	258株	30年3月期	220株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	6,868,608株	30年3月期2Q	6,868,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）における我が国経済は、雇用情勢の改善が持続する中、実質所得が堅調に拡大するなど、回復基調が継続いたしました。

また、世界経済も景気の拡大基調は継続したものの、デレバレッジ政策と貿易摩擦を背景に中国景気が減速傾向にあるなど今後の貿易摩擦の激化が世界経済に与える影響が懸念されております。

当社グループの属する機械工具業界は国内外の活発な設備投資を背景に堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、本年7月より新基幹システムが稼働しており、より一層の業務の標準化・効率化、内部統制の強化を推進しております。また同じく本年7月より名古屋ロジスティクスセンターが稼働しており、中部圏の深耕開拓及び新規開拓の基盤を新たに構築するなど企業成長のための取組みを積極的に展開しました。この結果、主要事業である切削工具事業や海外事業を中心として業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,442,726千円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益は512,717千円（前年同四半期比32.0%増）、経常利益は508,403千円（前年同四半期比27.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は288,752千円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### 切削工具事業

切削工具事業につきましては、機械工具業界が好調に推移する中、卸部門においては主要取扱メーカーとのキャンペーン施策や新商材の拡販等により堅調に推移いたしました。直販部門においても、顧客の設計段階から関与し提案を行うなど技術営業体制の強化を進めた結果、自動車、工作機械などの業界向けの販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は7,832,140千円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益は268,675千円（前年同四半期比45.5%増）となりました。

#### 耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、製缶メーカーの一部主要顧客向けの販売が前連結累計期間と比較して増加いたしました。また、製缶業界以外の分野に対する取組みも強化しており、製袋ユーザーへの販売等も伸長したことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,463,488千円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は151,867千円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

#### 海外事業

海外事業につきましては、貿易摩擦の動向に注視を要するものの、米国経済をはじめ世界経済は堅調に推移し、中国・メキシコ・タイにおいて自動車業界や工作機械業界向けの販売が増加した事等により売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,527,652千円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は63,401千円（前年同四半期比30.7%増）となりました。

## 光製品事業

光製品事業につきましては、中国でのフラットパネルディスプレイ関連の投資が堅調に推移した影響から外観検査装置業界への光学機器等の販売が好調に推移したことなどにより売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は619,444千円（前年同四半期比27.7%増）、セグメント利益は27,499千円（前年同四半期比59.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて452,020千円増加し、12,073,512千円となりました。これは主に、名古屋ロジスティクスセンター開設等に伴い商品が506,174千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が191,003千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて105,769千円増加し、2,651,352千円となりました。これは主に、本社の改修工事及び社名変更に伴う看板等の設置等により建物及び構築物（純額）が47,162千円、基幹システムの構築等に伴う無形固定資産のその他が30,872千円及び投資その他の資産のその他が51,912千円増加した一方で、のれんの償却によりれんが25,392千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて557,789千円増加し、14,724,865千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて52,758千円増加し、7,945,273千円となりました。これは主に、短期借入金が増加した一方で、その他が96,818千円、支払手形及び買掛金が71,418千円及び法人税等の支払により未払法人税等が33,969千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて361,774千円増加し、1,607,935千円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて414,533千円増加し、9,553,209千円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて143,256千円増加し、5,171,655千円となりました。これは、利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が79,736千円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,753,968千円(前年同四半期比43.3%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、218,152千円(前年同期は109,572千円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益508,403千円、売上債権の減少額154,933千円、減価償却費45,615千円及びのれん償却額25,392千円などであり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額539,669千円、法人税等の支払額264,028千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、164,795千円(前年同期は60,444千円の使用)となりました。

収入の主な内訳は、保険積立金の満期による収入20,258千円であり、支出の主な内訳は、本社の改修工事及び社名変更に伴う看板等の設置、車両運搬具の購入等による有形固定資産の取得による支出94,519千円、基幹システムの構築等に伴う無形固定資産の取得による支出53,544千円及び保険積立金の積立による支出28,633千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、491,602千円(前年同期は477,907千円の使用)となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入600,000千円及び短期借入金の増加額230,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出261,462千円、配当金の支払額75,214千円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成30年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,760,722	1,842,912
受取手形及び売掛金	5,366,461	5,175,457
商品	4,199,312	4,705,486
その他	340,030	393,215
貸倒引当金	△45,033	△43,559
流動資産合計	11,621,491	12,073,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	274,450	321,613
土地	891,806	891,806
その他(純額)	159,346	159,528
有形固定資産合計	1,325,604	1,372,948
無形固定資産		
のれん	25,392	—
その他	196,041	226,914
無形固定資産合計	221,433	226,914
投資その他の資産		
その他	1,016,077	1,067,990
貸倒引当金	△17,532	△16,499
投資その他の資産合計	998,545	1,051,490
固定資産合計	2,545,583	2,651,352
資産合計	14,167,075	14,724,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,992,477	4,921,059
短期借入金	1,605,840	1,862,495
1年内返済予定の長期借入金	423,201	434,510
未払法人税等	265,903	231,933
賞与引当金	170,240	175,044
役員賞与引当金	42,300	24,497
その他	392,551	295,733
流動負債合計	7,892,514	7,945,273
固定負債		
長期借入金	794,648	1,121,877
役員退職慰労引当金	194,387	204,186
退職給付に係る負債	247,961	272,649
その他	9,164	9,222
固定負債合計	1,246,161	1,607,935
負債合計	9,138,676	9,553,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,158,363	4,371,561
自己株式	△118	△155
株主資本合計	4,838,641	5,051,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,960	50,857
為替換算調整勘定	111,927	32,190
その他の包括利益累計額合計	156,887	83,048
非支配株主持分	32,869	36,804
純資産合計	5,028,398	5,171,655
負債純資産合計	14,167,075	14,724,865



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,320,575	12,442,726
売上原価	9,030,459	9,815,447
売上総利益	2,290,116	2,627,278
販売費及び一般管理費	1,901,639	2,114,560
営業利益	388,477	512,717
営業外収益		
受取利息	664	830
受取配当金	2,231	2,648
仕入割引	28,078	29,263
保険解約返戻金	6,907	15,006
その他	11,259	13,744
営業外収益合計	49,141	61,493
営業外費用		
支払利息	8,990	11,122
売上割引	19,095	21,517
為替差損	4,191	19,477
その他	5,335	13,689
営業外費用合計	37,613	65,807
経常利益	400,005	508,403
税金等調整前四半期純利益	400,005	508,403
法人税、住民税及び事業税	205,147	231,246
法人税等調整額	△18,054	△18,510
法人税等合計	187,093	212,735
四半期純利益	212,912	295,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,317	6,914
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,595	288,752

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	212,912	295,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,411	5,897
為替換算調整勘定	△13,075	△82,716
その他の包括利益合計	△4,664	△76,819
四半期包括利益	208,248	218,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,009	214,913
非支配株主に係る四半期包括利益	2,238	3,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	400,005	508,403
減価償却費	32,728	45,615
のれん償却額	30,193	25,392
貸倒引当金の増減額(△は減少)	443	△1,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,200	5,146
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,301	△17,728
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,619	24,723
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△250	9,799
受取利息及び受取配当金	△2,895	△3,479
支払利息	8,990	11,122
為替差損益(△は益)	△4,736	△1,311
売上債権の増減額(△は増加)	△40,895	154,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,732	△539,669
仕入債務の増減額(△は減少)	△211,997	△33,013
保険解約返戻金	△6,907	△15,006
その他	16,902	△122,851
小計	235,365	50,386
利息及び配当金の受取額	2,894	3,477
利息の支払額	△5,658	△7,987
法人税等の支払額	△123,030	△264,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,572	△218,152
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,607	△94,519
無形固定資産の取得による支出	△1,016	△53,544
投資有価証券の取得による支出	△5,611	△5,900
定期預金の預入による支出	△27,316	△2,692
保険積立金の積立による支出	△17,962	△28,633
保険積立金の解約による収入	10,871	2,173
保険積立金の満期による収入	5,078	20,258
その他	△6,880	△1,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,444	△164,795
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△154,944	230,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△259,688	△261,462
自己株式の取得による支出	—	△36
配当金の支払額	△61,679	△75,214
非支配株主への配当金の支払額	△1,596	△1,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477,907	491,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,121	△29,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△433,901	79,496
現金及び現金同等物の期首残高	1,657,727	1,674,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,223,825	1,753,968

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,226,052	1,361,618	2,248,009	484,895	11,320,575	—	11,320,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,985	—	8,208	—	14,193	△14,193	—
計	7,232,037	1,361,618	2,256,218	484,895	11,334,769	△14,193	11,320,575
セグメント利益	184,658	139,883	48,506	17,245	390,293	△1,816	388,477

(注)1 セグメント利益の調整額△1,816千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	7,832,140	1,463,488	2,527,652	619,444	12,442,726	—	12,442,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,769	—	7,263	—	10,033	△10,033	—
計	7,834,909	1,463,488	2,534,916	619,444	12,452,759	△10,033	12,442,726
セグメント利益	268,675	151,867	63,401	27,499	511,443	1,274	512,717

(注)1 セグメント利益の調整額1,274千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。